

Counseling Room

家庭問題カウンセリングルーム

第131回

公益社団法人
家庭問題情報センター 原 千枝子

「人生の第二ステージを

悔いなく迎えるために」

五十代半ばの夏江さんは、定年後に系列の子会社で働いている夫と離婚したいと考えています。

夫とは二年前から別居、二人いる子どものうち、長男は就職して独立、大学三年生の長女と二人で生活しています。

夏（夏江） 夫とは何度も話し合っているのですが、反省しているからやり直してくれと繰り返し、離婚にに応じてくれません。

家庭裁判所に調停を申し立てようと思っていますが、暴力や浮気が理由ではないので、離婚の方向で進めてもらえるのかどうか、不安なのです。

カ（カウンセラー） 具体的にはどういうことでしょうか？

夏 家庭裁判所では、夫が生活に不安を与えたわけではないし、こんなことで離婚を言う私が我儘だと思われてしまうのではないかと心配なのです。

カ こんなことと言ってもあなたにとつては大事なことですよね？

夏 そうです。夫は、私や家族が第一ではなく、夫の第一は自分と実家で、それがすべてに優先され、私や子どもたちは二の次、三の次です。

子どもたちも嫌な思いをしてくましたから、私の味方をしてきています。

カ 二の次、三の次？

夏 普通、引越しの最中に実家の親から電話があっても放り出して行ったりしませんよね。

夫の仕事は転勤が多く、長男が高校に入るまでは、ずっと一家で動いていました。子どもたちが小学校の頃ですが、荷ほどきの最中に姑から体調が優れない旨の電話があり、夫は車で飛んで行ってしまいました。

入院するほどでもなく、実家の近くには夫の姉が嫁いでいるので、わざわざ夫を呼びつける必要はないのです。翌日から子どもたちの学校があるし、生活できるようにするのに、私一人で大変でした。

姑は、干渉してくるだけでなく、心ない言葉を言うので、私や子どもたちはとても嫌な思いをしてくましました。

カ 心ない言葉？

夏 はい。長男の出産の時ですが、姑は、病院に来るなり、お祝いとかねぎらいたいの言葉より先に病院の悪口を言うのです。少し前に夫の姉が出産したのですが、その病院と比較して文句ばかり言うのです。

そばにいた夫は何も言ってくれず、とても悲しかったことを今でも忘れられません。

夫は、私をいたわることがなく、むしろ、向こうに迎合するような態度を取るのです。

カ 迎合する？

夏 冠婚葬祭で親族が集まった時に、向こうの親族が子ども自慢をしたりした際、夫は謙遜のつもりなのでしょうが、自分の子どもをこき下ろすのです。

子どもは、子どもなりに頑張っているのですから、悔しい思いをしますよね。夫は、私や子どもたちのことを人前でほめることは全くなく、むしろいつも悪く言うのです。

カ 照れていらっしやるのでは？

夏 それなら後できちんとフォローすべきですよ。それが全くないのです。それに、車とか家具とかを誤って傷付けたらするとすごく怒るのです。こっちはぶつけて痛い思いをしているのに、体のことを心配するより物のほうが大事なのです。

カ 尊厳が傷付けられてきた？

夏 その通りです。それがどうしても許せません。結婚以来、その積み重ねてきた。

子どもたちが独立した後、夫と二人で生活したくないし、夫の親族とも関

わりたくないのです。

夫としては、浮気やギャンブルをするわけではなく、給料をちゃんと入れてきたから役目を果たしてきたつもりでしょう。私が向こうの親族と関わらないでよいとか、家族中心に自分を変えらるからチャンスをくれと言いい、離婚に応じないので別居しました。でも変わらないですね。離婚しない限り、親族との付き合いも全くしないわけにはいきません。

カ お嬢さんの卒業を待つという選択肢はありませんか？

夏 卒業前にしたいのです。就職のことで姑からいろいろ言われたくないし、娘もいずれ家を出ていくでしょう。

私一人になったら、戻りたいという夫を受け入れてしまうのではないかと不安もあります。その時になって、離婚しなかったことを後悔したくないのです。今ならこれからの自分一人の人生をやり直せると思うのです。

カ 離婚後の生活費などの不安はありませんか？

夏 長女の卒業までの養育費は支払ってくれるでしょう。家のローンはもう終わっているし、貯蓄もあります。家計は、私がきちんと管理してきましたので、財産分与で半分もらえば、私の亡

父からの遺産もありますからなんとかなります。

いざれ姑も亡くなるでしょうが、その葬式だとか、考えるだけで憂鬱になります。夫と老後を過ごすのも夫の実家の墓に入るのもまっぴらです。

お話して、改めて自分がなぜ離婚したいのか、はつきりしました。

カ 離婚を決意するに至った事情と気持ちを相手にきちんと伝えることが重要です。

まず、具体的な事実を時系列で整理して調停に臨まれたらいかがでしょうか。

夏 はい。これまでのことを冷静に整理してみます。子どもたちも応援してくれているし、頑張ります。

子育ても終わり、ローンもなく老後資金も十分で、はた目から見ると幸せな生活を送ってこられたような夏江さんですが、夫との間に信頼関係を築けなかったようです。

果たして調停では、夫が妻の気持ちを理解できるかどうかかわかりませんが、お互いに納得した人生の第二ステージの選択を期待したいものです。

